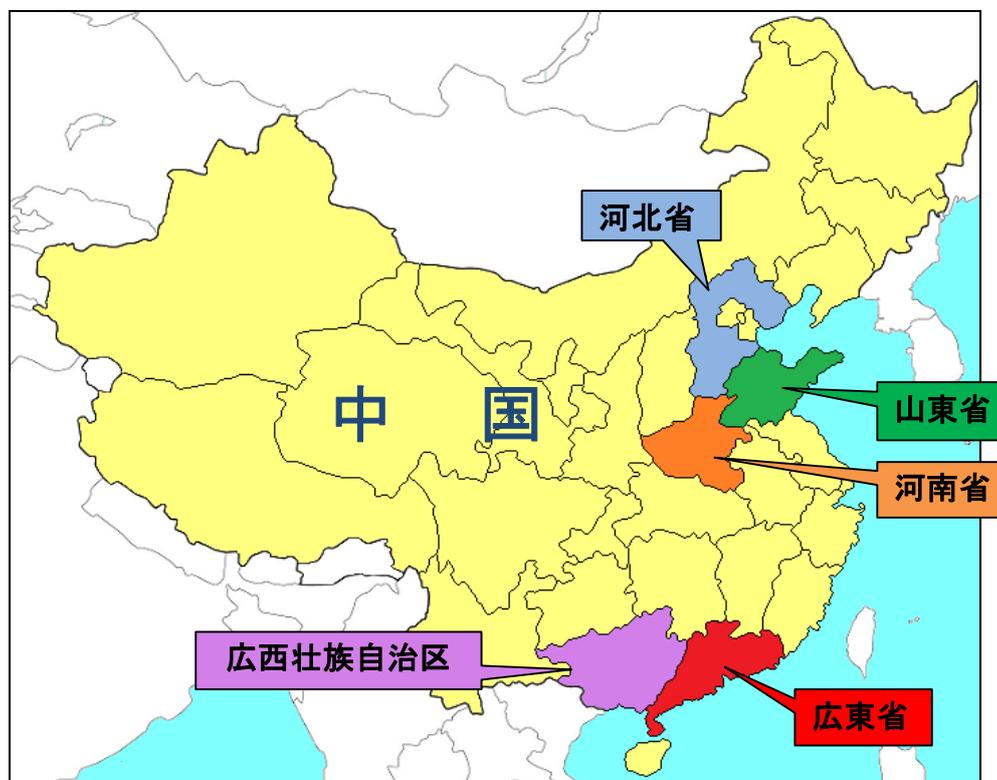


中国で手足口病が流行

2010年4月12日 ProMED 情報(Health News、PA report)



中国衛生部は、3月に77,756名の手足口病患者を報告しました。死亡患者数は2月の10名から40名へと急激に増加しました。中国では毎年、春と夏に、特に衛生状態が悪い農村地域で手足口病の大流行を見ます。衛生部の統計によると、去年は353名が死亡しました。流行は広東省 Guangdong、河南省 Henan、河北省 Hebei、山東省 Shandong 州、中国南部の広西壮族自治区 Guangxi Autonomous Region で報告されました。

現在、このウイルスに対して予防のためのワクチンも特別な治療法もありませんが、ほとんどの子供が問題なく速やかに回復します。

〔ProMED 調整者〕

手足口病(HFMD)は、エンテロウイルスと分類される数種のウイルスによって引き起こされます。コクサッキーウイルス A16 はアメリカ合衆国での手足口病で最もよく見られる原因ウイルスですが、他のコクサッキーウイルスやエンテロウイルスもこの病気と関係しています。また、特に最近では、エンテロウイルス 71 が東南アジアでの手足口病流行に関係しています。患者が治った後も手足口病を引き起こすウイルスは、数週間も体内に残っています。このことは、感染した子供が、まだ他の子供、稀に大人に感染を起こすことを意味します。ほとんどの手足口病は重篤な合併症を起こしませんが、エンテロウイルス 71 による手足口病は、高い確率で、髄膜脳炎、肺合併症を含む神経系の合併症を起こし、死亡することがあります。

厚生労働省 福岡検疫所